

9月9日は救急の日

救急車は本当に必要なひとのために!!

近年、全国で救急車の出動件数が急増しています。小平町では平成26年中に170件の出動があり、実際に救急車で搬送された方の数は171人です。そのうちの72人(42%)が、入院の必要のない方(軽症者)でした。

不適正な救急車の利用は、緊急性があり本当に救急車を必要としている人に対し、適切な救命処置等が遅れて、救える命が救えなくなる心配があります。

救急車の正しい利用について今一度考えてみましょう。

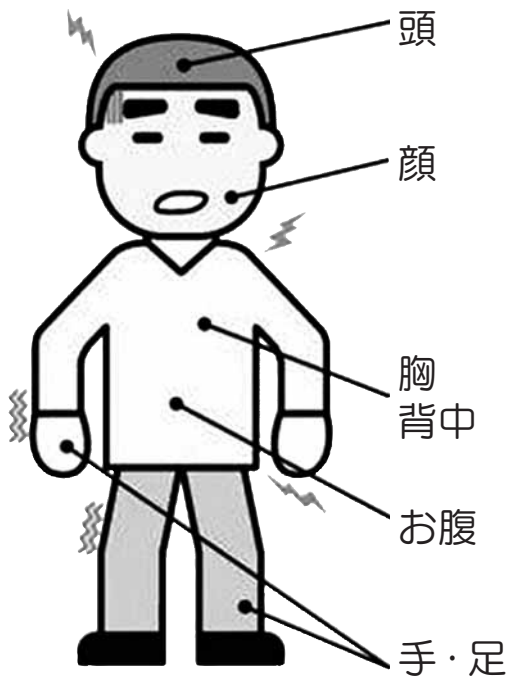
こんなときにはすぐに119番!!

以下の場合では、重大な**病気**や**けが**の可能性があります!!
ためらわずに救急車を呼びましょう。



大人

子ども(15歳以下)



- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 顔半分が動きにくい
- ろれつが回りにくい
- 物が二重に見える
- 顔色が明らかに悪い
- 突然の激痛
- 急な息切れ・呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられる
- 突然の激しい腹痛
- 吐血や下血がある
- 突然のしびれ
- 突然手や足に力が入らない

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血が止まらない
- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い
- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い
- 激しいおなかの痛み
- 嘔吐が止まらない
- 便に血が混じった
- 手足が硬直している

全年齢共通

- 意識の障害
意識がない
もうろうとしている
ぐったりしている
- 事故
交通事故にあった
水に溺れている
高い所から落ちた
- 飲み込み・吐き気
物をのどに詰まらせた
強い吐き気
- けが・やけど
大量の出血を伴うけが
広範囲のやけど
痛みのひどいやけど

※その他、いつもと違う、様子がおかしい場合でも、ためらわず救急車を呼んでください。



消防署からのお願い

「話をしている時間があるなら早く来てくれ!」「サイレンを鳴らさないで来てほしい!」

といった通報も少なくありません。消防署では通報内容の聴取と並行して出動の準備をしていますので、出動が遅れることはありません。また、救急車は現場に到着するまでサイレンを鳴らすように道路交通法で定められています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◎お問い合わせ 留萌消防組合小平消防署 救急係 ☎56-2221